

ROAD

発行 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1
 上智大学教育学事務室内
上智大学教育学科同窓会
 TEL (03) 3238-3650 FAX (03) 3238-3980
 編集責任者：教育学科同窓会会長 佐々木正文

上智大学教育学科同窓会会報

十八年度総会・講演会を十月二十八日に開催

森明美さん(昭和59年卒)をお招きして

昨年は、阿久津一浩さん(昭和57年卒)を講師にお迎えして、小学校での英語教育という興味深いテーマについてお話を伺う機会を得ました。活発な質問にも丁寧に応じていただき和やかな中にも、会員の皆様との熱意あふれるひと時を共有することができました。

さて今年もまた講演会・総会・懇親会を十月二十八日(土)に行ないます。一年寿命が延びたソフィアンズクラブでのこれが本当に最後の会になる事でしょう。

今年の講演会

講演会は二時から始まります。ソフィアンズクラブでの第四回目となる今年は、講師に森明美さん(昭和59年卒)をお願いしました。

演題は「Open The Door.」テレビ、ラジオ、演劇など多方面で活躍されている森さんが、

どのように人生のドアを開いて来られたか、きつと豊かなお話を聞き出すことができると思います。

森 明美(もりあけみ)さん



岡山芳泉高校、上智大学文学部教育学科昭和59年卒。OL経験の後、ニューヨークにて演劇修行。帰国後90年、教育学科同級生の畠祐美子氏(脚本家)とプロデュースカンパニー「リ・ボンReBon」を立ち上げ、数年に渡りオリジナル演劇作品

を企画・制作・出演する。アメリカ人演出家デイスノー作品をはじめ他劇団の公演にも出演する。かたわら、テレビドラマやラジオ番組にも活動の場を広げ、米滞在中の日本文化紹介活動やアメリカ大陸横断などの突撃的行動力を発揮し、朝日ニュースター(SS衛星放送)『Word and Japan』等のレポーターとして世界十数カ国を駆け巡る。ジューク、ルクセンブルグ王子、アロヨフイリピン大統領他、様々なパーソナリティーへのインタビュー歴を持つ。最近ではクラシックコンサートでのプロデュースやナビゲート役に取り組むなど、幅広い芸術分野へ関心を寄せている。A&A art(エアアンドエアー)代表。

総会から懇親会へ

森さんの講演会終了後、午後三時から、十八年度の総会を開催いたします。

会計報告のほか、この一年の活動報告、これからの活動方針等について、ご紹介いたします。会員の皆様のご意見、ご質問をお寄せ下さい。

会場のレイアウトを皆さんのご協力を得ながら少し変更して、懇親会へ移行します。

会には、理事長の高祖先生をはじめ、学科の先生方のご出席も予定しております。

軽食をご用意いたします。毎年好評(?)の女性スタッフ手作りのお菓子もテーブルに色を添えます。飲み物片手に、同窓生の親睦、先生方との歓談、森さんと更なる交流、情報交換など、和やかなひと時をお過ごし下さい。多くの方のご参加をお待ちしています。

(終了予定時刻は午後六時。アフター6も是非お楽しみ下さい)

懇親会費は三千円です。当日受付でお支払い下さい。現役学生は参加費無料です。

会場準備の都合上、出席者は同封の「文用紙」をご利用いただくか、またはメールでご連絡下さい。

(文責：昭和59年卒金井)

平成 17 年度講演会・総会・懇親会を開催

英語教育改革を目指して

—「国際化教育特区」新座市の試み—

まずは同年卒の大塚治さん（司会）が当時の楽しいエピソードも交え講師を紹介。和やかな雰囲気の中でお話が始まりました。

阿久津さんは大宮市の三つの中学で十八年間英語の教員を務めたあと、市教育委員会の指導課指導主事に。その後平成十六年度に「国際化教育特区」である新座市教育委員会の指導主事となり、英語教育の改革に力を尽くされてきました。以下お話の内容を簡単に紹介します。

新座市は平成十五年に特区に認定され、子どもたちの英語を使った実践的なコミュニケーションの力を育てることを目標にしてきました。その第一の特色は、市の全小・中学校の小1から中3までに週1時間の英会話

の時間を設けることです。授業には地域在住の外国人や海外在住経験のある日本人を英会話の講師として派遣しています。

小学校では英会話たいそう（Dancing English）のカリキュラムの下、歌ったり踊ったりするうちに自然に英会話が身についていくそうです。とくに新座市では英語かるたを作成して全学校に配り、授業や休み時間に使われています。読み札が英語で取札が日本語の五十音。取札の絵は子どもたちが描き、地元の名所なども扱っています。当初の「小学生には難しいのでは」という心配もよそに3年生でも読み札の内容を聞いてどんどん取ることができ、間近で見た阿久津さんもびっくりしたそうです。

中学校では通常の3時間の授業に加えて、1時間の英会話の授業が行われています。英語教員と英語指導助手（AET）のチーム・ティーチングが採られますが、市独自に加配教員を採用し各校に配置。最初から英語で自己紹介をしたり、先生と会話のできたりする生徒もいて、小学校からの英語教育の成果が現れてきていることを阿久津さん

んも感じているそうです。目指すは英語の授業をすべて英語で行うこと。しかしまだ課題も多いようです。

大学入試のあり方にも関連することから高校の英語教育の改革は難しい状況。その中でも、小・中学校という下の段階から改革をしていくことが重要ではないか、と阿久津さんは考えています。子どもたちに、日本語と同じように英語を道具とし、大人になっても積極的に人と関わられるようになってほしい。このように願いながら日々英語教育の指導に力を注いでおられます。



英語教育について語る阿久津さん



みんな笑顔の記念写真です

18年度の講演会は、10月28日(土)午後2時

ソフィアンズクラブにて開催されます！

教育学科同窓会ホームページ

<http://www.sophia-education-alumni.jp>

◆総会（3時～3時15分）
佐々木正文会長（昭和55年卒）から十七年度の事業報告、会計報告、ならびに十八年度の事業計画について説明がなされ、参加者から承認を受けました。

◆懇親会（3時半～5時）
司会は昭和50年卒の金井（旧姓畑谷）芳江さん。参加者からの近況報告もはさんで楽しく進行し、最後は全員で記念写真を撮ってお開きとなりました。
（文責 昭和60年卒渡邊）

昨年十一月二十六日、ソフィアンズクラブを会場に、平成十七年度の講演会・総会・懇親会が開催されました。

◆講演会（午後2時～3時）
「英語教育の改革を目指して」
三回目となった教育学科卒業生によるミニ講演会。今回の講師は、昭和57年卒の阿久津一浩さんが務めてくださいました。出席者は約四十名でした。

二〇〇五年度学位授与式レポート

石本達也（昭和58年卒）

二〇〇五年度上智大学学位授与式は、三月二十四日に行なわれました。東京国際フォーラムでの全体式典の後、教育学科の学位授与式は午後二時より九号館三三三教室にて行なわれ、われわれ同窓会有志も許可をいただき出席いたしました。

「これから、学位記を授与します。」の発声とともに、それまでざわついていた教室がさすがに一瞬にして敵かな雰囲気にかまれ、大学院修了生八名と学部卒業生五十一名のひとりひとりに学位記が手渡されました。「今のこの社会は格差が進行しています。勝ち組と負け組の格差が大きくなっています。今では希望を持つことが困難な状況すら感じられる人も存在します。いわゆる希望格差社会にまでなっています。皆さんはこれから社会人になりますが、そういう状況でも、希望をもって生きましよう。」という湯川学科長からの社会に巣立つ学生へのはなむけの言葉は、われわれ同席した

同窓生にも考えさせられる意義深いものでした。

学位授与式終了後に、同窓会の高祖理事長もお祝いに駆けつけられ、記念写真の輪がこちらこちらにひろがりました。

学位授与式終了後に、同窓会を代表してお祝いの言葉を贈るためにお時間をいただき、会長に代わりサポートスタッフの林充さん（昭和55年卒）が同窓会を代表してお祝いの言葉を贈りました。そして続けて同窓会の意義と活動状況を述べられ、終身会員としての会費納入への強いお願いをしました。

さらに会計の伊藤奈美予さん（昭和52年卒）からは控えめなお願ひがあり、お二人の絶妙なコンビネーションが功を奏して、当初の目標を上回る九名の方からその場で会費を納入していたことが出来ました。

これからもより多くの卒業生の方が参加していただけるように、一層充実した同窓会にしていきたいと思ひます。

銀祝準備委員を務めて

佐久間和子（昭和56年卒）

教育学科からの銀祝出席者は合計七名でした。お忙しい中、高祖先生にはパーティーにもご出席いただきました。

私は銀祝式典に出席し、新たな人生を考える良い機会を与えていただいたと思ひます。卒業後の四半世紀を振り返り、あの頃の自分の目で今の自分を見つめ直すことができました。また、

母校が卒業生にとっていつまでも神聖な存在であることを感じました。

今回私は銀祝準備委員をさせいただきました。

卒業二十五年もたてば皆社会の中核として仕事や家庭で多忙な毎日を送っています。それにも拘らず準備委員の方々は「母校に二十五年ぶりに集う仲間の

ために！」という思いで銀祝パ

ーティーの準備をまるでクラブ活動のように和気藹々としてきました。そのボランティア精神には頭が下がる思いがしました。仕事の後遅れて準備委員会に出席しましたが、「私も負けていけない！」とパワーを沢山いただきました。

二十五年前には話したことさえなくとも、同じ四谷の地で過ごした四年間というものは、何物にも変えがたい素晴らしい信頼感となって築かれているのだと思ひました。

視野に入れる必要があります。

八月二十一日、中央図書館九階の九二一会議室を会場に「上智大学公開夏季セミナー」が開催されました。今回のテーマは「大学教育とキャリア支援」。これは昨年の「キャンパスライフの現状から大学改革ニーズを探る」に続くもので、コーディネーターも引き続き武内清教授が務められました。今や大学はユニバーサル化し、また青年の自立・就職は難しくなっています。この状況下、大学における初年次教育（導入教育）のあり方が問われているのです。そこにはキャリア支援を

この問題意識に基づき、当日は関西国際大学学長の浜名篤氏（上智大学大学院社会学専攻博士後期課程修了）を始めとする高等教育機関や企業の専門家が報告とパネルディスカッションを行いました。参加者は大学教職員、高校教員、企業人事担当者、院生、学生等百二十人を超え、熱気あるセミナーでした。

上智大学も二〇〇五年四月に「就職指導部」が廃止され、「学生局キャリアセンター」が発足。既に一・二年生向けのキャリアデザイン講座を開催しています。

上智大学公開学習夏季セミナー

大学教育とキャリア支援

コーディネーターは武内先生

教育学科情報ボックス

今回は編集長の栗原（昭和57年卒）が取材をいたしました。四谷に出かけた際、実にタイミングよく大きなニュースを得ることが出来ました。

おめでとー！

知花くららさん

同窓生の皆さんもすでにご存知ですね。今年の三月卒業の知花くららさんが、七月二十三日にロサンゼルスで行われた第55回世界ミス・ユニバース・コンテストで、準ミス・ユニバースの栄冠を手に入られました。ミス・ユニバース・ジャパンに選ばれたのみならず、86カ国代表の中の第2位！すばらしいですね。心よりお祝い申し上げます。

在学中にフランスへ一年留学。学内ではフランメンコのサークルに在籍し、スペイン滞在の経験もあるそうです。ということでは、英語・フランス語・スペイン語の三ヶ国語に堪能！身長は百七十三センチの、まさしく才色兼備の女性ですね。と、ここまでではマスコミにも

流れている情報です。そこで知花さんを二年生のときから指導されてきた、増淵幸男先生（教育哲学）にお話をうかがいました。（ネットでは、「上智大学教育哲学科卒」との情報も：）

増淵先生のお話

彼女の卒業論文は「演者としての教師―世阿弥にみる教師論―」です。

世阿弥の深層にある意識を、演者と観客とが共有できる内容と共有している空間的役割について、教育学的に追究したものです。

演習やゼミ合宿では、人間存在を規定する根底が他者関係を形成する場の問題にあることを唱えています。

今回の結果に対しては、容姿のみでなく、内面的な自然美が評価されたことと受け止めています。

学科長は武内先生に

教育学科の学科長に四月から武内清先生（教育社会学）が就任されています。

三ページの報告にある「夏セミナー」のコーディネーターをなさった先生は、卒業生の進路、そして体験談が学生のキャリア教育に効果を持つとお考えになっています。

その観点から、同窓会が学生との交流の場を持つことが出来ないかと、武内先生からご提案をいただきました。十月二十八日の講演会・総会に合わせた開催を現在検討中です。今後はホームページにご注目ください。

ルーメル先生、卒寿！

ルーメル先生は、九月二十八日に卒寿（九十歳）をお迎えになります。大学全体では卒業生有志の呼びかけで、九月三十日にアルカディア市ヶ谷でお祝いの会が開かれます。

教育学科同窓会では、十月二十八日の懇親会の席でお祝い申し上げますと考えております。奮ってご参集ください

上智大学教育学科同窓会 会計中間報告（案）

（2005年11月26日から2006年5月31日まで）

項目	収入	支出
1 前年度より繰越金	3,317,873	
2 終身会費（21名分）	210,000	
3 同窓会参加費（37名分）	74,000	
4 利息	6	
収入合計（1）	3,601,879	
1 ソフィアンズクラブ 使用料		70,000
2 同窓会飲食費		88,065
3 講師へのお礼		6,150
4 会場お花代		3,150
5 写真代		4,207
6 慶弔費（卒業祝い記念品）		24,414
7 文具代		1,292
支出合計（2）		197,278

収入合計（1）－支出合計（2）＝残金 3,404,601 円

上記の通り、会計報告いたします。尚、残金 3,404,601 円は 2006年6月以降の同窓会費に引き継ぎます。

2006年8月19日
上智大学教育学科同窓会
会計担当 伊藤 奈美予

会計担当よりお願い

右に会計中間報告の案を載せました。ご意見等を総会の席でお寄せください。また総会では会計監査の件もご提案します。

本会の運営資金である終身会費の納入にご協力くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。未納の方は一万円を左記口座までお願いします。

郵便振替

〇〇一九〇一六一七〇三一一
三井住友銀行四谷駅前支店

普通 六七五五〇七

「上智大学教育学科同窓会」宛

編集後記

第十二号です。講演会・総会を十月に開催する関係から、少し早目の発行となりました。

今回は多くのサポートスタッフの協力をいただいで完成させることができました。感謝申し上げます。

ソフィアンズクラブの取り壊しが延期となり、来年の七月まで使用可能のようです。卒業生の積極的な利用をソフィア会が呼びかけています。（栗）